

2025年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任		
国語	論理国語（前半）	2	2年次	齊藤裕子・高市道弘		
選択するときの条件	2年次に全員共通履修					
使用教科書	(第一学習社) 精選 論理国語	使用副教材	(第一学習社)「論理国語 学習課題集」 (数研出版)「改訂版プレミアムカラー国語便覧」 (数研出版)「評論速読トレーニング1499」 (尚文出版)「グラusstエップ現代文2」 (桐原書店)「入試漢字コア2800改訂版」			
科目の目標			道徳教育のねらい			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。			人間と人間との関係の中で、互いの立場や考え方を尊重し合えるような、道徳的心情や道徳的判断力を養う。			
学習活動内容	育てたい6つの力（資質・能力）					
	1 主体的 学習力	2 基礎力	3 思考・ 分析力	4 発信・ 表現力	5 自他認知 ・協働力	6 計画 実行力
1 評論(一)の読解		○		○	◎	
2 評論(二)の読解	○		◎		○	
3 評論(三)の読解	○	◎				○
4 論理研究 テーマ「推論」			◎	○		○
5 評論(四)の読解	◎		○		○	
6 評論(五)の読解		○	○		◎	
7 評論(六)の読解			◎	○	○	
8 読み比べ テーマ「コミュニケーション」	○			◎		○
9 実用文(一)を扱う学習		○		◎		○
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
24						
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度		
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。		言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。		
評価の方法	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。					
	A: 目標に対する到達度が70%～100%		B: 目標に対する到達度が45%～69%		C: 目標に対する到達度が0%～44%	
	教科・科目における各観点	授業での取組	課題への取組	提出物	考査	
	知識・技能	○	○	◎	◎	
思考・判断・表現	○	○	◎	◎		
主体的に学ぶ態度	◎	◎	○	○		

論理国語 授業計画

授 業 計 画					実施状況		
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容	単元実施時数		実施反省	
				読む	書く		
前 期	4 (5)	・オリエンテーション (1) ・天然知能として生きる (4) ・自他の「間あい」 (3)	・論理国語の学びの目的と学習の概要を理解する。 ・筆者の考えを捉え、自分の経験と照らし合わせて思考を深める。	・授業についてのガイダンス ・筆者の考えを根拠とともに読み取る。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	1 4	3	
	5 (5)	・「私」中心の日本語 (2)	・具体例と主張との関係を整理して論理構成を把握し、筆者の主張を読み取る。	・筆者の考えを根拠とともに読み取る。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	1	1	
	前期中間考査 (1)				1		
	6 (8)	・日本人の「自然」 (5)	・対比関係を意識して読み、筆者の問題意識や執筆意図に目を向ける。	・文章の内容や解釈を評価し、扱われているテーマについて自分の考えを深める。	3	2	
	7 (4)	・手の変幻 (5)	・筆者の感性や着眼点、表現の特徴に留意して読み、論理展開の効果を考える。	・文章の内容や解釈を評価し、扱われているテーマについて自分の考えを深める。	4	1	
	8 (5)	・越境する動物がもたらす贈り物 (4)	・筆者の主張とそれを支える根拠との関係に着目して文意を読み取る。	・文章の内容や解釈を評価し、扱われているテーマについて自分の考えを深める。	3	1	
		・論理研究 推論 (2)	・推論の仕方について理解し、活用する方法を学ぶ。	・理解した内容を活用し、例文を用いて推論の妥当性を検討する。	1	1	
	前期期末考査 (1)				1		
	9 (6)	・働かないアリの意義がある (5)	・身近な例から社会の問題点へと展開する構造に着目して読解する。	・文章の内容や解釈を評価し、扱われているテーマについて自分の考えを深める。	3	2	
後 期	10 (7)	・AI時代の社会と法 (5)	・今後の社会の問題点について理解し、今日的な問題意識を持つ。	・文章の内容や解釈を評価し、扱われているテーマについて自分の考えを深める。	3	2	
	11 (11)	・なぜ多様性が必要か (5)	・現代社会が抱える課題について理解し、今日的な問題意識を持つ。	・文章の内容や解釈を評価し、扱われているテーマについて自分の考えを深める。	3	2	
		・生体認証技術の発展と未来 (6)	・今後の社会の問題点について理解し、今日的な問題意識を持つ。	・文章の内容や解釈を評価し、扱われているテーマについて自分の考えを深める。	4	2	
	後期中間考査 (1)				1		
	12 (7)	・コミュニティ空間としての都市 (5)	・現代社会が抱える課題について理解し、今日的な問題意識を持つ。	・提示された情報や対比内容に着目して読み、社会の在り方について考えを深める。	3	2	
	1 (4)	・「第二の身体」としてのメディアと技術 (6)	・現代社会が抱える課題について理解し、今日的な問題意識を持つ。	・具体例についての筆者の分析に着目して読み、社会の在り方について考えを深める。	2	4	
	2 (4)	・読み比べ (4)	・現代社会が抱える課題について理解し、今日的な問題意識を持つ。	・提示された情報や対比内容に着目して読み、社会の在り方について自己の考えを深める契機とする。	1	3	
後期期末考査 (1)				1			
3 (4)	・実用文を扱う (4)	・文章構成を工夫したり、簡潔で正確な表現を用いたりする。	・適切な表現の仕方を書く。		4		